

【議事録】平成29年度 第1回長井市新庁舎整備市民検討委員会

日時 平成29年9月27日（水） 13：30～15：30

場所 交流センターふらり：3階研修室

出席者 22名

■概要

長井市新庁舎整備にあたり、市民の方々の意見をいただく長井市新庁舎整備市民検討委員会を設置し、委員の委嘱状の交付と第1回の協議を行った。

新庁舎建設候補地の意見としては長井駅周辺で一致した。

内 容

1. 開会（進行：事務局）

2. 委嘱状交付（交付：市長）

3. あいさつ（市長）

9月の月末、上期の締めのご多忙の中出席いただきありがとうございます。また、このたびは委員を快くお引き受けいただきありがとうございます。本日、初会合となりますが、市庁舎のあり方について、市民の方の様々なお立場の方から忌憚のないご意見を頂きたいと考えております。

昭和29年に長井市が制定され63年目、昭和33年11月竣工の庁舎は、丸59年たった建物であります。建設当時は極めて重厚な鉄筋コンクリートのしっかりとした建物で長井市の中心としてその役割を担ってきました。今から20～30年前から庁舎をどうするかという話はあったそうですが、残念ながらその時々事情により今日に至っているわけです。長井市は昭和40年代からの15年で様々な公共施設を整備し、その後手つかずのまま現在に至り老朽化が進んでおり、公共施設整備としては重荷を背負ってしまいました。我々の世代で、整理し後世につけを回さないようにしなければならぬと考えております。

昨年12月に公共施設等整備計画を策定し、議会、市民にも説明してきました。施設整備の内容としては、庁舎、文化会館、南北中、学校調理場、多機能型図書館、屋内遊技場、屋内スポーツ施設など、10年間で約150億。そのメインとしてまず新庁舎建設があります。昨年から準備を進めてきましたが、豪雨で茨城県常総市の庁舎が浸水、熊本地震では宇土市の庁舎が損壊するなどし、国より市町村役場機能緊急保全事業で今年から4年限りで2割程度の財政支援があり、庁舎建設の追い風となっています。庁舎のあり方や機能について、みなさんからご意見を頂きながら、財政支援を受けるためにも残り3年半で建設していかなければいけません。

そこで建設場所の問題ですが、現在地は洪水ハザードマップで浸水想定区域となっています。

また現在は7か所に庁舎機能が分散しており、事務が進まない、何よりも市民の方にご迷惑をおかけしています。それらの課題に対応できる場所にしたい。今日の検討委員会では建設場所の検討をお願いしたい。年内に案として場所を提案いただきたい。そして来年3月の議会にかけ、来年度から設計に入りたい。市民の方が納得できるような建設場所で進めていきたい。そして、本日は男性委員が多いですが、女性の意見も取り入れていきたいと思っています。

4. 委員紹介・職員紹介（紹介：事務局）

5. 長井市新庁舎整備検討委員会設置要綱について（説明：事務局）

6. 委員長及び副委員長の選出について

- ・設置要綱第5条に基づき、委員に諮り、事務局一任の声あり。
- ・事務局案として、委員長に勝見英一朗委員、副委員長に神田忠正委員、加藤眞佐夫委員を提案。
- ・委員全員の拍手により事務局案の承認がなされた。

（委員長からのあいさつ）

長井市の顔が大きく変わってシンボルになっていくときに委員長をさせていただきうれしく思っています。お役に立てるように努めてまいります。

この検討委員会の役割は、諮問に対する答申ではなく、それぞれの意見を頂く会。遠慮なく意見を出し合ってください。

7. 協議

（1）長井市新庁舎整備基本構想について（資料1）

（事務局説明）・・・別添資料のとおり説明。

（委員長）基本構想について説明頂いたが、これについて質問、ご意見のある方は挙手にてお願いしたい。

（委員）スケジュールについて、本来だったら基本設計で1年かかると思うが、この期間ではだいぶ厳しいのではないかと。また、建設場所についても庁舎の規模を決めないと場所も決まらない。構想で示している庁舎面積の試算の仕方について、説明していただきたい。

（事務局）まず初めに、本日は、建設場所についての協議ですが、今後の検討委員会では基本計画の内容についてもご意見をいただきたい。スケジュールについては、市の財政負担を少しでも少なくするため国の財政支援を受けられる平成32年度までの完成を目標としている。デザインなどを凝ったものにすれば時間がかかるかと思うが、このスケジュールで進んでいけるよう考えている。構想で示した庁舎面積の試算方法については、国土交通省の試算方法は市民の利用スペースや議会などはないので長井市独自の試算となっている。

（委員長）基本構想のスケジュールなどについてはよろしいでしょうか。その他質問はございますか。

（委員）新庁舎に入らない部署はあるのか？上下水道事務所などは入らないのか？

（事務局）基本的には上下水道事務所も含めて一つにする方向で考えている。

(委員) 駐車場の台数は、職員と来客で考えているのか？

(事務局) 職員と来客の合計。面積は総務省基準で試算しており、今後も引き続き検討していく。

(委員) 建設場所は断層などに入っていないのか？地盤は大丈夫なのか。耐震化をして現在の庁舎を Is 値 0.6 から 0.9 にするにはどのようにすればよいのか。

(事務局) 長井市内の地質については、今までの上下水道工事時の地質調査の状況を見ても極端に弱いところはないようだ。平成 26 年度に Is 値を 0.6 まで上げた際は、柱に補強の炭素繊維を巻いたり壁を増やしたりした。0.9 まで上げる具体的な耐震工事の方法は検討していないのでわからない。元が古いのでそこまでの耐震化はかなり困難だと思う。

(委員) 今度の新庁舎は Is 値 0.9 を目指すということか。

(事務局) 防災拠点に求められている Is 値を目指していく。具体的には 0.9 以上。

(2) 長井市新庁舎の建設候補地について (資料 2)

(事務局説明)・・・別添資料のとおり説明。

(委員長) 今の説明についての質問はございますか。

(委員) 資料 P4 の候補地の比較についてみると、長井駅周辺が個人的には良いのではないかと思っている。長井駅も含めて開発ということも考えられないか。

(事務局) 長井駅周辺ということになれば、そういった考えもできると思う。

(市長) この資料だと長井駅しかないという感じに見えますが、議会でも様々な意見が出ました。中心市街地にこだわる理由が分からないという意見も出ました。長井は西置賜の中でも都市機能がまだ生きています。中心市街地活性化基本計画を採択・認定してもらい、国の補助金を民間が受けやすくなりました。別途検討中の公共複合施設については、補助率の高い国庫補助を受けるために公共施設や居住誘導区域を定めた立地適正化計画を策定する必要があります。公共複合施設の建設候補地も長井駅周辺で、敷地面積は 3～4 ヘクタールを想定し、飲食や遊びといった施設機能を検討中です。庁舎を郊外へ移すと中心市街地活性化基本計画のエリアから外れてしまい、現在進んでいる民間の事業にも水を差すことになります。また、庁舎と公共複合施設がある程度近隣にないと立地適正化計画の作成も難しくなってしまいます。

(委員長) なぜ長井駅周辺が最適なのか、議会の了解を得るためにも、意見や質問などありませんか。

(委員) 民有地についてはグンゼさんだけの土地に見えるが、協同薬品の土地は入っているのか？

(事務局) 庁舎に関しては、グンゼさんの土地のみ。

(市長) 長井駅の土地については、上下分離方式で土地が市所有になっています。今後のインバウンドを考えると駅もしっかり考えなければいけない。長井駅の敷地だけで庁舎建物は建設可能。グンゼさんの土地に関しては駐車場として利用したいと考えています。

(委員) 巷の噂で、庁舎はグンゼや協同薬品を買収して整備するらしい、と聞いていて、その時点では市の考えがわからなかった。今回、グンゼの今ほとんど利用していない部分の土地を駐車場として利用しようと考えていると聞いて納得した。

(委員長) 女性の意見も聞いてみたいと思います。

(委員) 噂で長井駅周辺エリアということは聞いていた。

(委員) 駅を取り込んでの庁舎というのは理想的だと思う。

(委員) 長井駅周辺は現実的。駅と一体というのは駅に庁舎が入るのか、庁舎に駅が入るのか。

(委員) 駅と一体とすれば、鉄道利用者が雨や雪に濡れず庁舎に入れる。維持管理のことも良く考えて全国に誇れるものを作ってほしい。

(委員) 昔は舟場が舟運で栄え、大正3年に長井駅ができた。今は国道287号ができて車社会になり、今年、ようやく道の駅が完成し人が停まれるようになった。新庁舎が長井駅と一緒になるという事は、市の歴史を考えても良いことだと思う。

(委員長) 駅と庁舎をこれからどのように繋いでいくかはこれから考えていく必要がある。

(委員) 四ッ谷側など、アクセス道路に関してどうなるのか。

(事務局) 今後、公共複合施設の計画もあるので、駅前通りとグンゼ通りなど、その関わりで道路を整備していく。

(委員長) 駅周辺の場合は道路整備が課題。

(委員) 長井駅周辺に庁舎を建てた場合とタウンセンターに建てた場合の活性化の比較、違いが見たい。

(市長) タウンセンターの場所は、元々スーパーが入っていて、これからまた商業機能が入ることを期待していた。ビルのオーナーの動きを見ていて、それも時間がかかりそうと判断した。オーナーは貸倉庫として運用していく方針のようだ。駅に庁舎を作った際には、駅前広場が狭隘。今後、街路事業と一体に駅前広場を整備すれば長井のまちの骨格となるのではないか。本町に商業機能が出来なければ、グンゼ、協同薬品の土地に公共複合施設を作り、余った土地にPPPやPFIで民間の商業施設を呼び込むということも考えられる。こうすればまちの賑わいの創出につながるのではないか。

(委員) 長井の町として、南北線道路はあっても東西線道路がない。駅を作った際に、西側と直接往来できるような渡り廊下などの整備は考えているか。

(市長) 長井駅を駅ビルにするという案もあったが、東西を橋渡しする架台だけで20億円ほどかかり現実的ではないとなった。5年、10年後で駅前広場は方向性がつき、東西線などの整備については後世にお願いしたい。新庁舎の整備候補地について、皆さんはどう思いますか。議会では北中や南中の近くに作ってほしいという人もいる。今回は、地区長さんの意見を伺い、長井の一番の中心なら賛同いただけると思うがいかがでしょうか。新庁舎の場所については、今後、各地区の座談会等で説明し市民の理解を得たい。

(委員) 公民館のコミュニティーセンター化を今進めており、これからIT化が重要となってくるが、情報が中央から発信されるということで、中央地区にあるというのは良い。

(委員) 現在の庁舎より利便性が良くなれば、場所はおおよそ良いかと思うが、道路は課題かと思っている。

(委員) 場所の件については一人では決めかねるが、中心市街地に市有地が少なすぎる。過去の戦略が場当たりのだったと思う。新庁舎や公共複合施設の整備を機に、交通網の整備も充実させていく必要があると思う。

(委員) 致芳地区は南の地区からすると衰退の一途。これからの若い人の意見を聞く機会も持っていたいただければいいかと思う。

(委員) 出来るだけ多くの人々が納得できる場所となると、長井駅周辺となるか。各地区で新庁舎の位置を説明・議論していくにあたって、この市民検討委員会に各地区長が入ったのは良いこ

とだと思う。

(委員長) 駅というのはその地方を代表する所だと思っているので、候補地としては最適かと思う。

(委員) 庁舎と駅が一体となれば、山形鉄道についても、より利用しやすくするために運行本数の増便や最終列車の時間を遅くするなど、今後の要望も変わってくる。

(委員長) 東西の道路の整備、交通網の整備、駅舎との一体の中で検討を進めていくのが望ましい。今後、様々な課題が出てくるとは思うが、まちの活性化を考え進めていくべき。各地区からの市営バスも運行されており、まちなかへの交通網もしっかりしている。いろんな方が気軽に市庁舎に訪れる環境を整えていく必要がある。

(市長) 今日いただいたご意見をまとめ、質問や課題を整理しご理解をいただけるよう準備を進めていきたい。現在、市民アンケートと職員アンケートを行っている。今後は各地区で説明会を開催したいと思っている。また、若者や女性の意見も伺いたいのので、商工会の青年部や青年会議所、女性の会などにも伺いたいと考えている。

(3) その他

第2回市民検討委員会は、平成29年10月30日(月)に予定。

8. その他

9. 閉会